

2016 年度 玉置賞推薦状

田村昌三先生は、1964 年に東京大学工学部燃料工学科を卒業、次いで、同大学院工学系研究科燃料工学修士課程、博士課程を修了し、1969 年に工学博士の学位を取得しました。その後、東洋紡績株式会社に勤務、1977 年からは東京大学工学部反応化学科に講師として勤務し、助教授を経て、1990 年に教授に昇進しました。その後、大学院工学系研究科化学システム工学専攻教授、大学院新領域創成科学研究科環境学専攻教授を歴任し、2004 年に定年退官、名誉教授の称号を授与されました。2004 年 7 月からは横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センターにて客員教授として勤務、特任教授を経て、2009 年に任期満了により特任教授を退職し、その後は客員教授として勤務し、2014 年退職しました。

その間、窒素酸化物の化学、環境大気の化学、エネルギー物質科学および安全の科学を専門として、教育、研究を行い、多くの博士、修士および学士を育てるとともに、多くの論文（約 300 編）、解説（約 170 篇）、著書（約 70 冊）等を執筆しました。

安全の科学の分野においては、物質安全、プロセス安全、廃棄物安全、事故事例解析、環境安全、エネルギーデバイス安全から、近年では、安全文化を考慮した産業安全の領域まで幅広い分野で活躍しています。

一方、経済産業省では、資源エネルギー調査会高压ガスおよび火薬類保安分科会会長、火薬部会部会長を、厚生労働省では、評価委員会研究調査研究部会部会長を歴任した他、経済産業省、厚生労働省、国土交通省、総務省消防庁、文部科学省、防衛省、環境省、内閣府、人事院、東京都をはじめ、関連団体の多くの安全関係の委員会において、委員長あるいは委員として貢献しました。また、2000 年には通商産業大臣表彰保安功労賞、2005 年には安全功労者内閣総理大臣表彰を受賞しています。

安全工学会における活動としては、理事（1994 年～2002 年）、副会長（2002 年～2004 年）、会長（2004 年～2006 年）を務められた他、経済産業省からの受託による安全文化を考慮した産業保安の在り方に関する調査においては、中心的な役割を務め、保安力向上センターの設立にも尽力しました。また、経済産業省からの受託による現場保安力の評価と強化の調査等においても委員長として貢献しました。また、会長時代には、安全工学会の法人化を推進しました。その後 2006 年からは評議員を務め、2010 年には名誉会員に推挙されました。

安全工学会以外の安全に関する活動としては、日本学術会議安全工学研究連絡委員会幹事（1991 年～1997 年）、同会議人間と工学研究連絡委員会幹事および安全工学専門委員会委員長（1997 年～2000 年）、火薬学会会長（1998 年～2004 年）、日本化学会においては、防災専門委員会委員長（1989 年～1991 年、1999 年～2000 年）、環境と安全推進委員会幹事（2000 年～2006 年）、防災小委員会委員長（2000 年～2006 年）等を歴任し、安全工学の発展に努めてきました。

近年は、化学産業における安全のわかる将来の経営層の育成や企業の安全の中核となる

幅広い見識を持った専門家の育成を目指した産業安全塾を、東京、三重、岡山で開講して運営に当たるとともに、家庭教育から、初等・中等教育、高等教育、企業教育、社会人教育に至る体系的安全教育の構築を目指した活動を行っている。

その他にも、(特非) 災害情報センター副理事長 (2008 年—2009 年)、同理事長 (2009 年—)、(公財) 総合安全工学研究所理事 (1995 年—2007 年)、同常務理事 (2007 年—2013 年)、同理事長 (2013 年—)、(公社) 全国火薬類保安協会副会長 (2005 年—2012 年)、危険物保安技術協会理事 (2005 年—2013 年)、(一財) 危険物試験研究センター理事 (2008 年—2013 年)、(一財) 危険物安全協会評議員 (2013 年—)、(一財) 化学物質評価研究機構評議員 (2004 年—)、(一財) 石油エネルギー技術センター評議員 (2005 年—2011 年)、(一財) 日本舶用品検定協会評議員 (2007 年—) 等多数の団体において安全の推進に寄与しています。

田村先生は、このように、長期間にわたって安全工学会の活動に参加しており、その活躍は玉置功労賞にふさわしいものであるといえます。

受賞者 田村昌三

1964 年	東京大学工学部燃料工学科卒業
1969 年	東京大学大学院工学系研究科燃料工学専門課程修士課程修了 工学博士
1969 年	東洋紡績株式会社入社
1977 年	東京大学工学部反応化学科講師
1980 年	同助教授
1990 年	同教授
1995 年	同大学院工学系研究科化学システム工学専攻教授
1999 年	同大学院新領域創成科学研究科環境学専攻教授
2004 年	東京大学定年退官、名誉教授
2004 年	横浜国立大学安心・安全の科学研究教育センター客員教授
2005 年	同特任教授
2009 年	同任期満了による退職、客員教授
2014 年	同退職、現在に至る